

# 中施策評価書

作成日 令和05年 11月 9日

中施策事業名	図書館施設維持管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹

①めざすまちの姿	13 教育や子どもに関する予算が確保され、教育環境がよい
②大施策	教育や子どもに関する予算を確保し、教育環境を整える
③中施策	学校以外の教育施設・設備を充実する
④中施策事業の対象	図書館施設
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	施設の改修や維持管理が適切に実施され、快適に利用できる環境が整っている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設の維持管理事業 ・展示室事業 ・施設利用及び年間行事予定事業 ・館内の美化事業

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
入館者数（本館・南部公民館図書室）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	239,000	239,000	239,000	239,000	239,000
	実績値	178,288	175,211			
単位	人					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		22,230千円	27,349千円		
人件費	a 事業費合計	22,230千円	27,349千円	107,584千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		157千円	71千円	104千円	
③ コスト(①-②)		22,073千円	27,278千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		321円	396円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>入館者数は目標値に達成していないが、安定した数値である。</p> <p>施設が古いため、設備等の修繕箇所も増えてきている。また、南庭の排水が悪いため排水溝の清掃を実施した。</p> <p>防火設備も老朽化が目立ち、点検で指摘を受けたためダクトの修繕工事を実施した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>利用者の安全や利用環境に配慮しながら、外壁工事・トイレ改修工事（洋式化）と授乳室を新設をする。</p> <p>南部公民館図書室の改修工事については、入札が不落になったため令和5年度に延期となった。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>トイレ改修工事を実施することで、利用しやすい施設になるため、来館者の集客にもつながる。</p> <p>南部公民館図書室の改修工事が延期となったが、市民満足度を高めるために市民目線でのサービス向上に努め利用者の満足度を検証するため、アンケートを実施する予定である。</p>	
今後、改善・拡大する事業	<p>事業名</p> <p>閉架書庫改修事業</p>	<p>内容、理由、時期等</p> <p>開館当初からの設備で同種類の設備・備品が無く不都合が発生した場合、修理が不可能で蔵書貸出業務に支障をきたすため、令和8年度～11年度の4年間で改修工事を実施する。</p>
今後、実施すべき新規事業	<p>事業名(仮称)</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
今後、休廃止する事業	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>

# 中施策評価書

作成日 令和05年 6月 10日

中施策事業名	資料情報管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	図書館資料		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	図書館資料の詳細データが整備され、検索が容易にできる状態となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・資料総点検全般事業 ・電算システムの管理事業		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
年間の予約件数（web予約含む）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	11,600	12,000	12,000	12,000	12,000
	実績値	16,917	17,038			
単位	件					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		7,915千円	8,930千円		
a	事業費合計	7,915千円	8,930千円	8,118千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		7,915千円	8,930千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		115円	130円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>A</p> <p>目標値は達成できており、来館者数も安定している。</p> <p>昨年度同様、インターネットでの予約や検索の利用者は増加傾向にある。</p> <p>令和3年度に自動返却機・自動貸出機を導入したことで、窓口業務も順調に流れており、来館者にも利用しやすい環境となった。</p>
------------------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引続き利用者に資料案内がわかりやすく伝わるよう、職員が工夫して館内作りをする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	利用者が必要とする資料案内が出来るよう工夫する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 6月 10日

中施策事業名	図書館資料貸出事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	新しい文化を醸成する		
④中施策事業の対象	図書館利用者（児童・生徒とその保護者及び関係する地域住民）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	読書推進によって、子どもの情操教育が充実し、市民も豊明の歴史・伝統・文化に対する関心が高まっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 広報、館報、HP、電子掲示板、メール配信事業・一般書事業・児童書事業・図書館用AV資料事業・レファレンスサービス事業・相互貸借事業・利用案内事業・利用推進事業・学校連携、職場体験事業・ボランティア事業・南部公民館図書室改善事業		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
年間貸出点数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000
	実績値	451,351	444,202			
単位	点					
新規登録者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	実績値	1,138	1,124			
単位	人					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額
		令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)		33,306千円	37,320千円	
a	事業費合計	33,306千円	37,320千円	42,621千円
	人件費	人数	0人	0人
		金額	0千円	0千円
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人
		金額	0千円	0千円
人件費合計		0千円	0千円	
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)		33,306千円	37,320千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		484円	542円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>B</p> <p>貸出冊数と新規登録者数は目標値に達成していないが、利用者数は安定している。館内の「おすすめ本コーナー」や「今月の本棚」を引続き継続し来館者数の増加に繋がるよう工夫した。また、市制50周年記念事業として「ビブリオバトル」を開催し、発表者6人参加者32人の参加があった。図書館フェア行事として豊明高校イラストレーション部によるしおり作りには2日間で200人を超える入場者がありとても好評だった。また、新規事業も開催した。</p>
------------------------------------	--

## ■改善案の検討

<p>現年度に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>新規の事業や講座を企画し、開催する。参加者が集まり来館者の増加にも繋がる。南部公民館図書室の改修工事が延期となったが、前後駅利用者などが、利用しやすいように充実をはかり、より一層利用しやすい環境をつくる。</p>	
<p>翌年度以降に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>「おすすめ本コーナー」や「今月の本棚」を継続し、新規事業の企画を行う。南部公民館図書室については、前後駅利用者（通勤・通学）の増加を見込んだ蔵書の充実や書架を低くし開放感のある図書室にする。</p>	
<p>今後、改善・拡大する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、実施すべき新規事業</p>	<p>事業名(仮称)</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、休廃止する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>

# 中施策評価書

作成日 令和05年 6月 10日

中施策事業名	郷土資料保存事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹

①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する
④中施策事業の対象	郷土資料等
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	豊明の歴史、伝統、文化に関する資料及び情報が収集されるとともに利用しやすい環境が整備されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・参考資料室事業

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
郷土資料の貸出冊数 (原則館内利用だが、5日間の特別貸出可能)	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	190	100	100	100	100
	実績値	58	28			
単位	冊					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		875千円	740千円		
a	事業費合計	875千円	740千円	658千円	
	人件費	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		875千円	740千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		13円	11円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>貸出冊数は目標値に達していないが、一定数の利用はある。特設コーナーやおすすめコーナーを設置し引続き行っていく。</p> <p>貸出用の郷土資料は、豊明市に縁のある人物が話題になる年は注目され貸出冊数も増える傾向がある。テレビドラマの注目度にも大きな影響がある。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引続き郷土資料の充実や書架のレイアウトを工夫する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	郷土資料における貸出実績を調査し書架の整備をする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等